

敬老の日になんで

〔高齢者は57万2,030人 県総人口の19.1%〕

9月19日は敬老の日です。敬老の日になんで、高齢者に関する統計を取り上げてみました。なお、65歳以上のいわゆる老年人口を「高齢者」としました。

高齢者の数は57万2,030人、県総人口の19.1%で過去最高

茨城県常住人口調査の結果から、平成17年9月19日現在の高齢者の数を推計すると、572,030人となり、県総人口に対する割合は19.1%になります。この数値は人口、割合ともに過去最高となります。

前年同時期の推計に比べると、高齢者の人口は16,095人増加し、県の総人口に対する割合も18.6%から0.5ポイント上昇しました。

男女別では、男性が247,911人、女性が324,119人で、女性が男性を76,208人上回っています。

表 茨城県の高齢者人口の推計（平成17年9月19日現在）

	総人口	高齢者人口 (65歳以上)	割合
男女計	2,988,150人	572,030人	19.1%
男	1,486,948人	247,911人	16.7%
女	1,501,202人	324,119人	21.6%

注) 茨城県常住人口調査の結果をもとに推計

高齢者割合の高い県北地域

平成17年9月19日現在の高齢者の割合を地域別にみると、県北地域21.2%、県央地域20.0%、鹿行地域19.0%、県南地域17.3%、県西地域19.4%となり、県北及び県央地域では5人に1人が高齢者ということになります。

また高齢者の割合が高い市町村では、大子町、大洋村、常陸大宮市、常陸太田市、河内町、行方市の6市町村が25%を超えており、他方、高齢者の割合が低い市町村では、守谷市、つくば市、神栖市、龍ヶ崎市の4市が15%未満となっています。

高齢者の数、割合ともに増加傾向続く

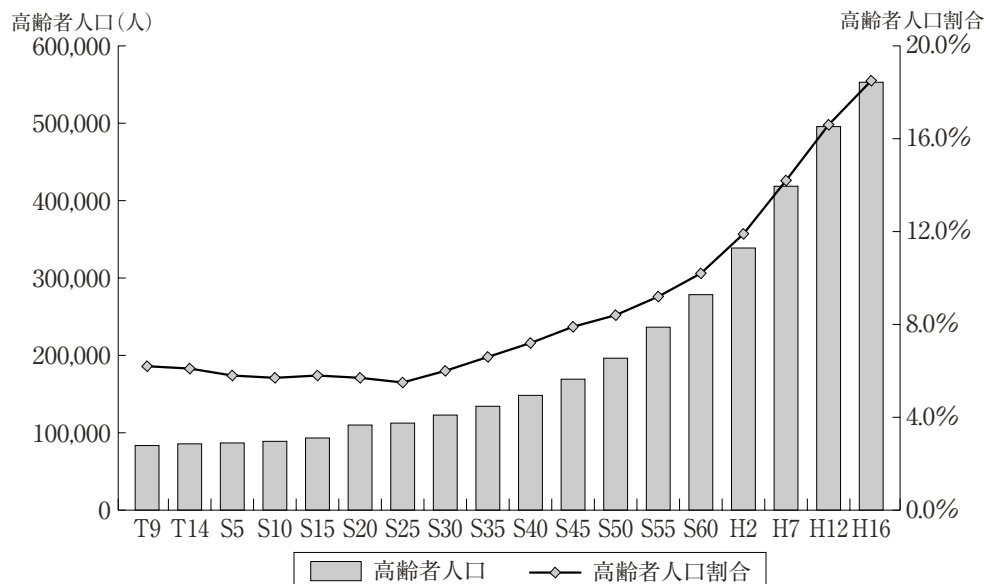
本県の高齢者人口は、確実に増加しており、昭和57年4月に250,247人と25万人を超え、平成3年7月には351,386人と35万人を超えました。また、平成9年10月には450,666人と45万人を超え、さらに、平成16年4月には550,552人と55万人を超えています。

■統計の窓

大正9年から5年ごとに行われる国勢調査結果より、県総人口に占める高齢者人口割合の推移をみると、第1回国勢調査が行われた大正9年以降、昭和35年ごろまでは6%程度で推移しており、昭和25年が5.5%と最も低い割合になります。その後は年々上昇し、昭和60年には10.2%と10%を超え、平成12年には16.6%まで上昇しています。

また、高齢者人口は昭和25年から昭和40年までの各5年間は10%前後の増加率であったものが、昭和50年以降は各5年間で20%前後の高い増加率となっています。

図 茨城県の高齢者人口の推移（各年10月1日現在）



注) 平成16年は総務省統計局「平成16年10月1日現在推計人口」により、平成16年以外は国勢調査結果により作成

高齢者の割合が低い茨城県

総務省統計局が推計した平成16年10月1日現在の都道府県別推計人口では、本県の総人口に占める高齢者人口の割合は18.5%です。これは全国平均の19.5%を1.0ポイント下回り、都道府県別にみると低い方から9番目で、全国第39位となります。

高齢者人口の割合が最も低い都道府県は、埼玉県（15.5%）で、これに沖縄県（16.1%）、神奈川県（16.2%）、愛知県（16.6%）、千葉県（16.8%）と続いています。

—茨城県常住人口調査について—

茨城県常住人口調査は、国勢調査の間における県内各市町村ごとの人口及び世帯の移動状況を明らかにするために、県統計課が実施しているものです。